

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		各種運動普及推進事業						予算事業名		運動普及推進事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	健康増進法					
				04	01	03	2401	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分		主要事業				
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）								重点事業				
		①健康づくりの推進						担当課係等		健康増進センター				
2健康な身体づくりの支援						健康増進係								
事業期間		継続（平成 8年度～ 年度）												
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
地域の中で市民が運動普及推進員と共に運動することで運動の意義や楽しさを実感し，運動を通した健康づくりに取り組む事ができる。							健康日本2 1(第二次)においても，市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため，大きな柱として「身体活動の増加」，「健康な食事」，「禁煙」を推進している。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
市民向けの運動教室を開催し，心身の健康づくりのための運動を普及啓発する。 ・リズムエクササイズ教室実施 ・ステップ運動教室実施 ・依頼による出前運動教室 ・その他健康運動教室実施							20歳以上の市民 【事業をとりまく環境の変化】 第2次健康日本2 1においても，市民の健康保持・増進及び生活習慣病予防のため，大きな柱として「身体活動の増加」，「健康な食事」，「禁煙」を推進している。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
・リズムエクササイズ教室実施 ・ステップ運動教室実施 ・依頼による出前運動教室 ・その他健康運動教室実施				・リズムエクササイズ教室実施 ・ステップ運動教室実施 ・依頼による出前運動教室 ・その他健康運動教室実施				・リズムエクササイズ教室実施 ・ステップ運動教室実施 ・依頼による出前運動教室 ・その他健康運動教室実施						
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	28	54							
歳入計（千円）				28		54								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）								
	11 需用費			28		54								
歳出計（千円）（A）				28		54								
伸び率（％）						92.85								
備考	総合計画49ページ 予算書101ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	各種教室等の実施回数	回	目標	120.00	120.00	120.00
	地域で教室を開催し、運動を普及する		実績	89.00	0.00	0.00
	運動普及推進員協力者数	人	目標	400.00	400.00	400.00
	運動普及推進員が主体となって教室を実施する		実績	305.00	0.00	0.00
成果 指標	ステップ運動教室参加者数	人	目標	70.00	85.00	90.00
	手軽にできる有酸素運動である、ステップ運動を多くの市民に普及をする		実績	86.00	0.00	0.00
	リズムエクササイズ教室参加者数	人	目標	930.00	800.00	850.00
	教室の中でも、予約不要で気軽に参加できる、リズムエクササイズ教室は市民に定着化しており、市民が運動を始めるきっかけとなっている		実績	756.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	健康を維持・増進する上で運動を市民に普及することは重要であり、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	運動普及推進員（ボランティア）が、教室を主体的に実施しており、市民が市民のために運動を通した健康づくりを支援している。
	手段の妥当性	A 妥当である	各種運動教室は、市民に好評であり手段としては妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	運動普及推進員が4グループに分かれ、各教室を担当しており、効率よく教室を実施している。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	教室やイベントには多くの参加者があるが、リピーターの参加者も多く、すべての市民に伝達することは困難である。また、教室の参加者は60歳代以上の参加者が多く、若い世代の参加が少ない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	教室の参加者の推移は横ばいであるが、開催する運動教室は市民に定着してきており、教室をきっかけに運動習慣を身に付けている市民もいる。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	開催している教室は市民に定着してきており、教室をきっかけに運動習慣を身に付けている市民も増えてきているが、若い世代やより多くの市民に運動を普及していくため、新たな教室の開催や、教室の周知方法を考慮していく必要がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
開催している運動教室は、好評であるが、リピーターが多く、特に若い世代の参加が少ない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民の健康づくりを支援する運動普及活動は求められており、今後も継続して市民のニーズにあった教室を開催していく。また、若い世代への運動を普及させるために、若い世代の教室参加者を増やしていく。若い世代も参加しやすいような教室の内容や周知方法等を検討していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民参加の教室において、運動普及推進員が指導者として実施体制を維持してきたことは、推進員の活動の場を広げるとともに、推進員のスキルアップにつながっている。その結果市民の健康保持・増進の一助となっているため、推進員活動の支援を継続して実施していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。